

おひさま ニュース

2016
7月号
夏 号

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：水谷正彦 編集責任者：根本達也

☀️ コメディカルも 頑張っています

医療技術部 顧問

瀬戸 秀子



7月に入り、夏空がひとときわ眩しく感じられる季節となりました。

今回は、コメディカルスタッフについて紹介をさせていただきます。医師の指示のもとで業務を行う、医師以外の看護師を含む医療従事者をコメディカルスタッフと呼びます。当院では組織上看護部・医療技術部に分けて配属されていますが、今回は医療技術部を紹介いたします。

医療技術部は薬剤室、画像診断室、臨床検査室、栄養管理室、リハビリテーション室、ME室の6部署にわかれて業務を行っています。薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士などそれぞれ国家資格免許をもつ医療技術者で、亀田総合病院からの協力も得て125人のスタッフが所属しています。診療上必要とする各種医療技術の提供を円滑に行い、質の高い安全で安心な医療を提供できるように、医師や看護師をサポートしています。

みなさまが病気や怪我で来院された時に、診断または治療をしていくうえで必要な検査、例えば採血して血液の検査を行ったり、レントゲン撮影し、部位の状況を確認するなどの検査を行っています。また入院された場合に

は、病棟に配置された薬剤師が、薬の調整や適切な使用方法を説明するなど、患者さまと直接顔を合わせコミュニケーションをとっています。院内で使用する様々な医療機器の調整や管理も重要な業務です。そして、日常生活にできるだけ早く復帰していただくためのリハビリ、また治療食の提供や栄養状態の管理など少しでも患者さまにご満足いただける食事が提供できるようにと、給食スタッフが一丸となって取り組んでいたりなど、それぞれの職種が専門の業務を分担し、医師、看護師と連携を取りながら、患者さまへ提供する医療サービスの向上を目指して頑張っています。

また、当院では毎年地域に密着した病院事業の一環として、中学生の職場体験学習を受け入れています。生徒さんたちは診療部・看護部・医療技術部・事務部へと希望された分野に配属され、それぞれの職種がどのような仕事をどのように担当しているか、また患者さまに接しているかを勉強し、体験していただいています。生徒さんたちが病院の仕事に興味を持っていただけるように、部署ごとに工夫をしていますが、医療技術部では普段入ることがない臨床検査室や薬剤室、画像診断室でMRIやCT検査などの医療機器の見学をします。検査方法や撮影の説明は難しくもあり、また驚きの体験だと思います。次の世代を担う子供たちに説明をすることで、私たちも日々の業務を振り返る大変良い機会となっていることは間違いありません。

彼らが、将来医療職に就き、活躍している姿を想像するだけで期待が膨らみます。この体験を活かして、将来の進路に結びつけてもらえるように私たち職員も応援していきます。

診療科のご紹介	総合診療科	呼吸器科	消化器科	循環器科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	小児科
	腎臓内科	腫瘍内科	神経内科	膠原病内科	糖尿病甲状腺内分泌内科	外科
	整形外科	泌尿器科	乳腺科	スポーツ整形	皮膚科	救急科
	ペインクリニック	透析科	麻酔科	リハビリテーション科		

外科



当院の外科は、館山を中心とする地域医療の拠点病院として充実すべく、平成27年8月より常勤医が2名、今年4月より1名が加わり、院長を含む4名体制で検査から診断治療まで包括的に外科診療ができることになりました。

対象は胃、大腸を主とした消化管や肝臓、胆のう、膵臓などの消化器のほか、腹壁や肛門疾患、呼吸器から甲状腺といった広範囲の外科疾患に対し治療を行っています。疾患別では胃がん、大腸がんをはじめとする消化器がんや肺がん、甲状腺がんなどの悪性疾患に対する外科治療のほか、胆石や膵膵・大腿・腹壁癒痕ヘルニア、痔核、肛門脱、直腸脱、気胸などの良性疾患に対する外科治療も行っています。

近年、腹腔鏡、胸腔鏡といった内視鏡を使っ

た手術（鏡視下手術）が様々な施設で行われ普及してきています。鏡視下手術は胸腹部を大きく切開しなくても、直径5mmから1cmほどの内視鏡が入るだけの孔を開け、モニターで観察することで処置を行う技術です。傷が小さいのでより体の負担が少なく美容的にも優れていて、社会復帰も早いです。一方、高度な技術が必要で、習熟した外科医が行って初めて安全で侵襲の少ない手術といえます。当院では、胆石や虫垂炎、気胸、ヘルニアなどの良性疾患から、胃がんや大腸がん、肺がんのような悪性疾患に対しても、安全確実性を保って幅広く鏡視下手術を行っています。

この地域の高齢化も目立ってきています。それに伴って色々な疾患にかかるのは自然なことと受け入れなければいけません。ただ、できるだけ多くの方に医療を提供することで、安房地域のみなさまの健康という一番の幸せを守るお手伝いをさせていただければと思います。

ふかさわ もとじ
深澤 基児 部長 外科
(写真：前列中央)

出身地：横浜
趣味：サーフィン ゴルフ
房総の好きなところ

：海がきれい 人が優しい 魚がおいしい



薬剤室便り

その睡眠薬は必要ですか？

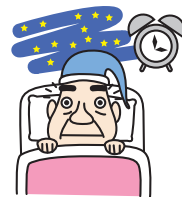
眠れないといって、睡眠薬に頼りすぎていませんか？

睡眠薬には、筋肉の緊張を緩める作用もあり、高齢者はその作用による転倒の危険が高まり、転んで骨折してしまうこともあります。

年齢によって平均睡眠時間が異なり、一般的

には高齢になると眠れる時間が短くなります。長時間床についていると睡眠が浅く、途中で目が覚めて眠れないように感じることもあるようです。

できるだけ薬に頼らず、良い睡眠が得られるように、生活習慣を見直しましょう。



院内清掃は、まかせて!

施設管理室 山口 清美



安房地域医療センター内の清掃は、17名のスタッフがローテーションで行っています。病棟と救急棟には8時～17時に9名、本館1階と2階には15時～20時に3名で清掃をしています。清掃作業に必要なのが、清掃カートです。このカートにはモップやタオルをはじめ、細かい部分の汚れを除去する用具など清掃に必要な用具一式を常備し、汚れやほこりを溜め込まない作業をしています。

私たち清掃スタッフは、作業をするうえで常に患者さま、医療・看護の優先を念頭におき作業をしています。自分たちの都合ではなく、清掃場所の状況を把握して医療・看護を妨げないこと、患者さま一人ひとりの状態を見極め

て負担にならない作業を心がけています。

1階フロアは、総合受付・外来診察室・救急棟への連絡通路などたくさんの方が行き交う場所なので、清掃には洗浄機（床の水洗い）を使用して夕方から作業を開始しています。清潔、衛生面が特に重要視されるトイレは、清掃に加え適時点検を行い、利用される方に不快感を与えないように心がけています。また、床が濡れやすい雨の日や清掃スタッフの目が届かない場所で清掃が必要な時などは、職員から連絡を受け速やかに対処しています。

病院清掃では、感染に関しての知識は必要不可欠です。院内の勉強会にも積極的に参加し、感染対策にも取り組んでいます。うがいや手洗い、マスクの着用を徹底し、感染に対して高い意識を持って作業をしています。

平成27年2月にユニフォームを一新しました。明るく、暖かな太陽をイメージしています。これからも明るい笑顔で思いやりの気持ちを忘れず、清潔で衛生的な環境を提供して参ります。

どうぞ気軽に声をかけてください。床の水洗いの様子



栄養コラム

真夏の清涼 完熟トマトのジュレ

調理師 鈴木 正人

夏の季語でもあるトマトは野菜の中でも品種が多く、世界の多くの国で食されています。また、他の野菜同様、ビタミンや食物繊維が含まれています。「トマトが赤くなると医者が青くなる」というくらい、夏には欠かせない食品ですね。今回はその赤いトマトが透明に! 前菜の1品としてお試しください。

<材料 / 4人分>

- トマト（熟しているもの） …… 3個
- ゼラチンパウダー …… 8g
- レモン汁 …… 30cc
- 塩 …… 5g
- フルーツトマト・胡瓜・ミント適宜

<作り方>

① トマトを皮ごと適当な大きさに切り、ミキサーにかける。

② ギャルにサラシなどをあててボウルにセットし、①を注いで半日くらいかけてゆっくりこす。

※ ゆっくりこすことによって透明なトマト液に。絞ってしまうとキレイな液になりません。

③ ②の液を60度に温め、ゼラチン・塩・レモン汁を加えた後、適当な容器に入れて冷蔵庫で2時間程冷やす。

④ スプーンで器に盛り、お好みでカラフルなミニトマトやミント、飾り切りした胡瓜などを添えてできあがり。





研修医入職



4月4日(月)研修医の入職式が行われ、今年度は初期研修医4名が入職しました。

当院は、亀田総合病院の臨床研修病院になっています。4名の医師は、当院をはじめ亀田総合病院や亀田ファミリークリニック館山、近隣の医療機関で、地域医療を目指す医師の基礎を養成する「地域ジェネラリストプログラム」(初期研修)課程を2年間研修します。患者さまやご家族さまの温かいご指導・ご協力をお願いいたします。

早春のしらべ コンサート

3月12日(土)「トリオで奏でる早春のしらべ」と題したコンサートが開かれました。国内外で活動をしている平岡忍様(フルート)、石橋謙二様(コントラバス)、永井理江様(ピアノ)の3名により、「アイネクライネ・ナハトムジーク」やアンコール曲としてNHK 朝の連続テレビ小説「花子とアン」の主題歌「にじいろ」など全11曲が演奏されました。入院中の患者さまを含む約70名の観客は「花」をみんなで歌い、会場の外来待合室は、美しい調べが運んできたひとあし早い春でいっぱいになりました。



災害机上訓練実施

3月5日(土)当院職員を対象に第2回災害机上訓練を実施しました。院外から千葉県内の日本DMAT隊員5名をアドバイザーに迎え、参加者約80名3時間の訓練となりました。今回は震度6の地震が起き大規模な災害が発生したという想定のもと、不動寺純明亀田総合病院救命救急センター長の合図で始まりました。会場となった2つの会議室は ① 指揮・命令する役割の本部 ② 診療現場となる診察室や検査室・病棟 とし、各グループに当院職員の DMAT隊員を配置、離れた場所から指揮・伝達・報告がうまくできるかを確認しました。訓練後参加者からは多くの意見が出され、発災に備え課題を検討し準備を重ねていきます。



上手にできたよ! 防災訓練

ひまわり保育所では毎月防災訓練を行っていますが、4月12日(火)は館山消防署との合同訓練でした。火災発生音が鳴ると、不安げな表情や泣き出す子もいましたが保育士の「大丈夫だよ」の声に落ち着くと、少し大きめの黄色い防災頭巾をかぶり慌てることなく避難ができました。憧れの消防自動車の見学は、みんな瞳を輝かせ興味津々。消防士さんに「このスイッチ何?」と聞いたり実際に触れてみました。運転席に座ると気分はすっかり消防士さん! ひまわり保育所消防団に変身し敬礼のポーズを格好よく決めて、どの子も満面の笑顔でした。



編集後記



先日、お世話になっている人への誕生日の花束をお花屋さんに注文した時のことです。どんな花束がいいか、贈る相手のことや好きな色など話してみました。当日に届けられた花束は受け取った瞬間に伝わって

くるものがあり心をうつものでした。お花屋さんとはほんの短い時間話ただけなのに、贈る人贈られる人のことを大切に思い、温かみあふれる花束を作ってくれました。「心をこめる」仕事の素晴らしさを教えていただいたような気がしました。

じゅんべりい